

令和5年3月 教育委員会会議録

開催日	令和5年3月28日(火) 10～12時
開催場所	半田市役所 庁議室
出席委員	教育長 鈴川慶光 委員 桂 優子 委員 新美 大 委員 久米宏和 委員 正村日登美 委員 堀崎隆資
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 高下隆史 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 青木美希 スポーツ課長 加藤計志 スポーツ課主幹 長坂壮浩 図書館長 山下由美 博物館長 関 正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当副主幹 渡辺 富之
協議事項	(1) 県民の日学校ホリデーに係る令和5年度の実施日について
報告事項	(1) 寄附・後援願等について (2) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等について (3) 令和5年3月半田市議会定例会の報告について (4) 令和5年度教育部予算及び主要事業の概要について (5) 令和4年度退職管理職・教職員辞令伝達式及び令和5年度半田市教職員受入式等について (6) 令和5年度半田市立小中学校・幼稚園訪問実施計画(案)について (7) 令和5年度研究委嘱校等について (8) 令和5年度教職員の研修予定について (9) 令和5年度半田市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について (10) 令和5年度地区公民館職員の委嘱について (11) 令和5年度学校施設開放管理指導員の委嘱について (12) 令和5年度地区公民館の臨時開館日、臨時休館日について (13) 施設使用料の支払時におけるキャッシュレス決済の導入について (14) 令和4年度音楽のあるまちづくり事業報告について (15) 令和5年度半田市弓道教室の開催について (16) はんだシティマラソン2023の協賛企業・団体の募集について (17) 令和5年度新美南吉記念館半田市民特別観覧券の発券及びはんだ市報への掲載について (18) 各種事業について ①ビギクラ♪はんだ2023の開催について ②令和5年度前期分「講座・イベント情報誌」について ③「あかちゃんとしょかん」ボランティア養成講座について

	④第 38 回知多工芸展について ⑤旧中埜家住宅で組紐を体験しようについて ⑥企画展“ぼくは井戸である～「牛をつないだ樁の木」考から”の開催について
各課事務連絡	学校教育課、博物館

〈 開会 10時00分 〉

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 2月定例会及び3月臨時会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長)</p> <p>2月26日、乙川小学校150周年記念ということで、乙川小学校の運動場に地元の山車4台が乗り入れ、子どもたちが山車を曳いたり、お囃子を聞かせてくれたりと、大変盛り上がった。山車に関わる若い人たちが減っている中で、このように山車に関わることが各地で行われるといいと思う。4月には、花園小学校でも、春のまつりで山車が2台乗り入れると聞いている。伝統文化を継承していくためには、学校も協力していきたいと思っている。</p> <p>3月3日、市P連から市長、教育長あてに中学校における部活動の地域移行に関する要望書が提出された。主な内容は5点。1. 公共施設の利用規則改正及び設備の改善、2. バウチャー制度の導入、3. 運動部及び文化部の指導者の確保及び公平性の確保、4. 既存の部活動にとらわれない選択肢の確保、5. 公共交通の改善及び通学交通支援。これらの支援を市として配慮するという要望をいただいた。できる限り要望がかなえられるように、予算化の検討をするなどして、部活動の地域移行をスムーズに進められるようにしていきたい。</p> <p>7日、中学校卒業式が開催された。乙川中学校に行ったが、今年の卒業生たちは小学校6年生の卒業前からコロナによる休校が始まり、ずっと3年間コロナで終わるようで、我慢を強いられた子たちかなと思った。卒業生代表による答辞では、最初から声が詰まって話せなくなるところから始まり、本当に苦しかった思いを、子どもの目線で、素直な言葉で表現していて、とても感動させられた。代表の子は、苦しかったが自分たちは頑張ってきて、これからも頑張っていかなきゃいけないという思いを発表していたが、おそらくみんながそういう思いではないかと思う。これからもそういった経験を生かしながら先を見て進んでいただけるとありがたいと思う。</p> <p>14日に文部科学大臣表彰授与ということで、今年度は、成岩中学校の事務職員寺澤主査が愛知県の優秀職員に選ばれ、さらに文部科学大臣表彰を受けられた。一般教職員が選ばれることが多い中、事務職員が、こういった文部大臣表彰で選ばれることは少ない。学校事務職員としての立場でしっかりとやってくれており、まだ40代の職員だが、ほかの事務職員を引っ張ってくれているということで、大変ありがたい表彰を受けた。市長にも報告した。</p> <p>同じく14日に、第3回生徒会サミットが行われた。生徒会サミットは、市内各中学校の生徒会役員がテーマに沿って話し合いをするものだが、今年度は、スマイル宣言の見直しと、ネット5原則の見直しをテーマに、意見交換をし、新しいものを作っている。本来この日で新しいネット5原則が決まる予定だったが、意見が活発に出され、決まらなかった。各学校の子どもたちが思いをぶつけ合って、一度持ち帰って、来年度早々になるが各学校で相談をしてきて、新たなネット5原則を来年度発表することとなっている。</p> <p>もう一つのテーマが、ふるさと半田を住みたいまち半田にしようというもの。地元半田市について、みんなが知って、よりよくしていこうという取組を各中学校でやってきた。生徒会の子が中心になって話し合いをしたり、各学校での学年ごとの取組などの情報交換をし</p>

	<p>た。ほかの学校の取り組みを取り入れたりもしており、今後ますます半田市を知り、地域の人と交流するような活動が活発に行われていくと感じた。例えば、ユーチューブに各学校で地域のことを撮ってアップするなど、いろんな取組をしたいという報告があったので、楽しみにしている。</p> <p>22日、新美南吉の命日の貝殻忌の記念式典が開催された。天気もよかったので屋外で開催された。声優の入野自由（いりの みゆ）さん、千と千尋の神隠しでハクの役をされた方をお招きした。声優界では有名な方で、たくさんの方が来てくださって、屋外でやるのもいいなと思った。「泉」を朗読していただいたが、読み聞かせの会の人とはまた違った雰囲気や良さがあつた。</p> <p>24日、資料に記載はないが、つくし学園の卒園式があり、初めて見に行かせていただいた。各小中学校や幼稚園の卒園式とは異なる感じで、とても温かい雰囲気だった。園長先生の言葉の中で、「子どもたちの小さな成長に大きな喜びを感じながら生活してきた」ということは、とても印象に残った。そういう気持ちを、ほかの幼稚園、小中学校でも、先生たちが感じる必要があるとともに、そういった小さな成長を見逃さずに子どもや保護者の方と喜び合えるような学校や幼稚園であるべきだなと感じた。</p>
<p>3. 議題 ■協議事項 1) 県民の日学校ホリデーについて</p>	<p>(教育長) 県民の日学校ホリデーについては、2月の定例教で規則改正を行ったが、県から最終的な通知が来ているので、本市の運用について説明させていただく。</p> <p>(学校教育課長) 今後の事務の流れの関係で、本委員会で承認いただきたく、説明させていただく。</p> <p>3月16日付けで、愛知県の教育委員会から通知があつた。愛知県では、条例により、令和5年度から11月27日を愛知県民の日として制定し、11月21日から27日までの1週間をあいちウィークとすることとした。県立の学校では、学校教育法における体験的学習活動等を通して県や市への愛着や誇りを持つことができるよう、期間中の平日の1日を県民の日学校ホリデーとして休業日とすることが決定している。家族などと一緒に、地域の自然、歴史風土、文化、産業等についての理解と関心を深める体験的な学習活動等に参加することで、愛知への愛着と県民としては誇りを持つことができるよう、保護者の有給休暇の取得を促すことも目的としている。そして、各市町村においてもこの趣旨を理解し、令和5年度からの実施について検討してくださいという旨の通知が届いている。</p> <p>知多管内の5市5町においては、協議の上、足並み揃えることとした。令和5年度については、11月24日（金）を学校ホリデーとしたいとするもの。そうすると、子どもたちは11月23日（木）が勤労感謝の日であるため、4連休ということになる。</p> <p>(教育長) ただいまの説明につきまして何か御質問、御意見ありましたらお願いします。それでは24日（金）を学校ホリデーとすることでよろしいでしょうか。</p>

	<p>(教育委員) 異議なし。</p> <p>(教育長) 承認することとする。委員のみなさまもご承知おきください。</p>
<p>■ 報告事項 1) 寄附・後援 願等について</p>	<p>(学校教育課長) ・5団体より寄附。 (内訳：空気清浄機、棒引き用竹、航空図書、理科室用カーテン、冊子) ・17件の後援名義を許可。</p> <p>(久米委員) 後援名義 9 番の三幸株式会社について。事業実施の会場が鳥羽市となっているが、何か関連があるのか。</p> <p>(新美南吉記念館長) 南吉生誕 110 年に当たり、関連行事を全国各地でやっていただけるように募集をしており、それに応募していただいたもの。</p> <p>(新美委員) 寄付 1 番と 4 番は同じ厄歳会のようなのだが、1 番は匿名、4 番は匿名ではない。理由は聞いているか。</p> <p>(学校教育課長) 理由は承知していない。寄附採納書に記載のとおり。</p>
<p>2) 児童生徒 (園児)の交通 事故・問題行動 等について</p>	<p>(指導主事) 令和 5 年 2 月 21 日～3 月 24 日の交通事故・問題行動等について。 交通事故：2 件 2 月 25 日(土) 1 件 3 月 10 日(金) 1 件 問題行動(被害)等：2 件 2 月 23 日(木) 1 件 3 月 7 日(火) 1 件 交通事故以外の事故：1 件 3 月 2 日(木) 1 件 学校等被害：なし 不審者情報：4 件 2 月 20 日(水) 1 件 2 月 18 日(土) 1 件 3 月 1 日(水) 1 件 3 月 9 日(木) 1 件</p>

<p>3) 令和5年3月半田市議会定例会の報告について</p>	<p>(教育部長)</p> <p>令和5年3月市議会定例会における、代表質問及び一般質問について説明する。3月議会は代表質問として各会派からの質問がある。今回は5つの会派のうち4つの会派から質問があった。3月議会では市長が来年度に向けての市政方針を語るが、それについての質問が多かった。質疑等は次のとおり。</p> <p>【代表質問】</p> <p>○会派：創造みらい半田 議員：芳金秀展</p> <p>主題：市長施政方針について</p> <p>要旨：半田市最大の魅力である「はんだ山車まつり」と「新美南吉」について</p> <p>質問：新美南吉を芸術文化の振興にどのように活かしていくのか</p> <p>答弁：新美南吉は文学だけでなく、音楽、演劇、絵画など広く芸術を愛し、作品には郷土の伝統芸能も描いている。そうした南吉を近年では様々な芸術分野の方が表現活動のテーマにしている。広く市民に親しまれている南吉をテーマにすることで、普段は縁のない芸術分野でも関心を持ちやすくなる。生誕110年には、こうした異なるジャンルとのコラボレーションを一層進めることで新たな南吉へのアプローチを提案し芸術文化の振興に活かしていく。</p> <p>要旨：「幸せになるための教育」について</p> <p>質問：具体的にどのような教育が推進される想定か</p> <p>答弁：「幸せになるための教育」は、これまでの教育と目指すものは同じであり、「教育の目的は子どもの幸せ」「学校は子どもが幸せになるためにある」と考えている。今後、学校では、様々な場面で、「私の幸せとは？」「皆の幸せとは？」「私が幸せになるには？」「皆が幸せになるには？」を意識させる教育活動を展開したり、問いかけたりすることで、自ら考え、行動できる力を身に付けさせていく。さらに、学んだことを生かす場面を考えたり、学んだことを生かした経験を振り返ったり、学んだことと生活や社会との関連を考えたりする活動を通して、よりよい人生を送るために必要な力を身に付けさせていく。</p> <p>○会派：志民ネット 議員：小栗佳仁</p> <p>主題：市長施政方針について</p> <p>要旨：「幸せになるための教育」について</p> <p>質問：タブレットにより危惧される問題とその先にある「幸せになるための教育」への見解</p> <p>答弁：タブレットを活用した教育については、従来の教育方法では得られなかった多様な学びの機会や自己学習能力の向上など、様々な効果が期待される一方で、過剰な利用による健康被害やコミュニケーションのトラブルの増加などの弊害も危惧される。現在学校では、児童生徒がデジタル技術を正しく安全に利用するために、デジタルシティズンシップ教育を進めている。デジタルシティズンシップ教育では、インターネットやデジタル技術を使用する上でのマナーや倫理観、プライバシーやセキュリティについての意識を高めるもので、相手に対する尊重や配慮を持ち、適切な言葉遣いや行動</p>
---------------------------------	--

を心がけることを学ぶなどコミュニケーション能力の向上も図る。ICT教育を推進しながら、同時に「幸せになるための教育」を進めていくことが重要だと考えている。

要旨：新学校給食センター建設について

質問：農業支援策としての給食食材（規格外野菜）の購入について

答弁：食材は、必要な時期に必要な数量を確実に納品できるものを価格や品質、産地などを比較し選定している。また、新学校給食センターでは洗浄機能の高い機器や大きな野菜にも対応可能な切裁機を導入し、より安心・安全な給食を目指すとともに調理の効率性や多様性を高めていく。しかしながら、通常の野菜であっても、機器へ投入する前には、食材の確認や異物除去は手作業で行っている。規格外の野菜であれば、多くの人員配置が必要となり、費用面も含め総合的に判断する必要がある。現在のところ規格外野菜の通常価格購入による農業支援策を実施する考えはない。

○会派：自民クラブ 議員：嶋崎昌弘

主 題：市長施政方針について

要旨：「幸せになるための教育」について

質問：会議による議論の結果、教育委員会の現場でどのような成果があったか

答弁：キャリア教育を基盤にして、子ども一人一人がよりよい人生を送るために必要な力を身に付けることを目指して教育活動を推進してきた。「教育の目的は子どもの幸せ」「学校は子どもが幸せになるためにある」と考えている。

「幸せになるための教育を実現する会議」での議論を通して、「幸せになるための教育」とは、これまでの教育と目指すものは同じであると整理できた。今後、各校は、市の教育目標を参考に教育目標を見直し、目指す子ども像へ迫る教育活動を実施する。また、子どもが幸せになるためには、教職員も幸せになることが大切であり、そのためには、子どもと向き合う時間と心の余裕が必要であることを確認できた。その余裕を生み出すために、専科教員や学校地域協働支援員の配置を進めていく。

○会派：チャレンジはんだ 議員：伊藤正興

主題：市長施政方針について

要旨：「幸せになるための教育」について

質問：指導要領や目標等は作成したのか

答弁：幸せになるための教育は、各学校、各教員が主体的に自由に考え、進めていくことになる。そのため、新たに指導要領やカリキュラム等を作成するのではなく、これまでの半田市の教育目標との関係を整理し、全小中学校へ周知した。小中学校では、その教育目標を参考に自校の教育目標を見直し、目指す子ども像へ迫る教育活動を実施する。

【一般質問】

○会派：チャレンジ半田 議員：水野尚美

主題：多様な性の理解促進と支援について

要旨：令和2年12月議会一般質問後の進捗状況について

質問：市内全ての小中学校における男女混合名簿の使用状況

教育環境の整備と人権感覚を身に付けた教職員の育成について

答弁：（一括答弁）男女混合名簿は、令和4年度当初から市内全ての小中学校で使用している。

令和5年4月からは新制服となる男女共用のブレザーも選択可能とし、これに合わせ、各学校では他の校則の見直しも行ってきた。また、新乙川中学校では各フロアに多目的トイレを配置し、全体では5か所に設置した。誰もが気兼ねなく使用できる多目的トイレは学校での日常生活には必須のものであり、次に改築工事を実施する亀崎小学校にも積極的に設置を進める。

人権感覚を身に付けた教職員の育成については、性の多様性に関する研修に参加させており、多くの幼・保・小中学校の教職員が受講している。また、各校では、学識経験者を招いた「性の多様性と教育」をテーマにした研修を実施したり、現職教育の一つとして話し合ったりしている。これらの取り組みにより、ある学校では、性的少数者である当事者の方と生徒をオンラインでつなぐ講演会を計画し、子どもたちに向けて性の多様性を教えるなど、人権感覚を身に付けた教職員は着実に育っている。

要旨：パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の運用に関わることについて

質問：保育園、幼稚園、小学校、中学校における職員研修について

答弁：教職員には、性の多様性の研修への参加を積極的に進めており、今後も多くの幼・保・小中学校の教職員が受講する。幼稚園・保育園では合同園長会議で「性の多様性やパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を題材とした研修を実施し、管理職の理解をより図っていく。小中学校では、半田市生徒指導総合連携研修会を開催し、性的少数者の方とその保護者の方を講師に招き、「子どもたちが自分らしく生きるために身近な大人にできること」をテーマにした研修を実施する。対象者は、幼・保及び小中学校の教職員と保護者などを予定しており市内全ての教職員が学べる研修会にする。

（桂委員）

2点質問がある。1点目は、デジタルシティズンシップについて。先ほどの問題行動の中にもあったが、様々なSNS等のトラブルがある中で、教育現場として何ができるか。実際にデジタルシティズンシップ教育が何年生から始まって、それは何かのカリキュラムに基づいて進んでいるのか、各々の先生たちの裁量で進めているのか、そのあたりの考え方を教えてほしい。

（指導主事）

デジタルシティズンシップ教育とは、デジタル社会の中であって、デジタルやSNSが悪ではないものとして、それらを正しく活用できる力を身につけていきたいというもの。まずは教員がしっかりその考え方を理解した上で教育できるよう、研修会を何回か計画して理解を図ってきた。具体的には、例えば小学校1年生から学校ではタブレットを貸与して

いるが、タブレットを配布するときに、これやっちゃ駄目と伝えるばかりではなく、落としてしまったらすぐに先生に言えばいいよなど、そういったことから正しく使うということを伝えていきたい。現場の教員目線で必要なものを考え、作成して、展開していく、ICTの活用を創造する会というものも立ち上げている。徐々に現場にもデジタルシティズンシップ教育の考えが広まっていると感じる。

問題行動としてSMSトラブルがあるのは事実だが、そこにSNSがなかったとしても、根本にある何かの要因によって同様の問題が起こることもあり、SNSがあることが原因なのかどうかについては見極めていく必要がある。

(桂委員)

子どもたちは、低年齢のうちからすぐ簡単に画像や動画を見ることができる環境にある。それが当たり前になっていて、どれだけ危険なことか理解出来ないままやっているような気がする。

情報モラルの講演会のような場で、トラブルに巻き込まれる恐れがある、大変なことが起こるかもしれないなどと伝えていただき、単純に便利なだけのものではないということも知っておいてほしい。

スマートフォンは本当に多くの子どもが持っているので、できるだけ早い時期に繰り返し、指導して、考えていく。活用だけでなく、そういった教育も必要だと思うので、両方とも意識していただけたらと思う。

(桂委員)

もう1点は、LGBTQの件について。当事者が執筆された本を読んだりしていると、私たちだと想像も及ばないような苦しさだったり、困ったところがたくさんあることに気づくと思う。例えば、多目的トイレは誰もが気兼ねなく使えるものだが、カミングアウトしてない子どもが本当に使えるのかなと思ったりします。したがって、当事者の方からお話を聞く機会を設けて、その方たちはどういう学校だったら過ごしやすいのか、どういうところに困っているのかなどを聞くといい。対応出来ないこともあるかもしれないが、いろいろな情報の中から少しでも変えられるならと思う。

例えば健康診断にしても、男の子は裸になってやるが、女の子は隠してやる。そこに当事者がいたら辛いのではと思う。改めて一から考えていかないと気付かないことが多いと思うので、今後ご配慮をお願いしたい。

(学校教育課長)

当事者の方を交えて研修をすることについてはとても重要なことだと認識しており、我々も、そういった方の声をしっかり聞いていかなければいけないと思った。先ほどご意見いただいた健康診断やトイレについても、気にしなければ気付かないことだと思う。

トイレについては、亀崎小学校改築の基本設計を考えるにあたり、男子トイレを全部個室にするという案もあったが、費用のこともあり採用には至らなかった。ただ、そういったことも時代の流れとともに変えていかなければ、いけないなというふうに思っている。

	<p>(新美委員) 市長の市政方針は、公表されているのか。</p> <p>(教育部長) 市ホームページで公表されている。</p> <p>(新美委員) 代表質問の答弁は誰がしているのか。</p> <p>(教育部長) 基本的には市長が答弁するが、教育に関することは教育長が答弁する。</p>
<p>4) 令和4年度 教育部予算及び 主要事業の概要 について</p>	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の学校生活を支援します 小中学校において多様化した学校生活に適切に対応するため、支援員等の各種会計年度任用職員を配置し、学校生活の安定を図るもの。令和5年度は、特別支援学級補助員を増員している。 ○切れ目のない支援体制を整備します 拠点校に看護師及び介助員を配置するとともに、学校生活に要する環境を整備するもの。医療的ケア児など、特別な支援を要する児童生徒に対応するもの。 ○いじめ・不登校対策を推進します 適応指導教室の設置運営、スクールカウンセラー・メンタルフレンドの派遣、心の教室相談員・スクールソーシャルワーカーの配置を行うもの。重要課題の一つだが、長期の不登校児童生徒の支援だけでなく、新たな一人を出さないための支援にも力を入れている。 ○学校運営の活性化を地域とともに推進します 地域住民への制度の浸透及び当事者意識をもった視点での学校運営、教育活動の活性化に繋げるもの。 ○日本語初期指導教室を運営します 日本語を話すことができない児童生徒への日本語初期指導教室を運営するもの。昨年度から始めており、日本語を話すことができない児童生徒が日本語を習得し、安心・安定した学校生活を送ることができるようにしたいとするもの。 ○小中学校の特別教室等に空調を整備します 特別教室等に空調設備を整備するもの。頻繁に使われる教室から順に、令和5年度から令和7年度にかけて実施していく。 ○小学校の保全工事を実施します 老朽化した学校施設の改修工事を始めるもの。計画上、建て替えまで10年以上の期間がある学校について、令和5年度から令和8年度にかけて安心・安全を保障する保全工事を実施するもの。 ○教育ICT環境の整備を行います 1人1台端末、電子黒板、学習支援等ソフトウェア、ICT支援員を整備するも

の。G I G Aスクール構想に基づき、個別最適な学びや情報社会を生き抜く力を育んでいくもの。

○亀崎小学校の改築・改修工事を始めます

令和8年度供用開始に向けて老朽化した学校施設の改築・改修工事を始める。令和5年度は、仮校舎実施設計及び仮校舎の建設、借り上げを進める。

○乙川中学校の改築（建替え）工事を進めています

老朽化した学校施設（全校舎・柔剣道場）の改築工事を継続する。令和4年12月に新校舎が完成し、冬休みに引っ越し、3学期から新校舎での学びを始めている。令和5年度は、旧校舎の解体と運動場の整備をする。

（給食センター所長）

○良質でおいしい学校給食を提供します

安価かつ安心安全な食材を購入するとともに、可能な限り地元産の食材を選択し、地元への愛着や食育に繋げる。令和5年度は、給食の質を維持するため食材料費の一部を一般財源から補助すると同時に、さらなる物価高騰への対応として学校給食費の見直しも含めて検討する。

○学校給食食器の絵柄デザインを選定します

新美南吉生誕110年に合わせ、令和6年9月の新学校給食センター供用開始とともに使用する学校給食用の食器絵柄デザインを市内小中学校に通う児童生徒から募集し、選定する。

○学校給食費等を管理するシステムを導入します

学校の事務負担を軽減し、教員が子どもと向き合う時間をより多く確保するために、これまで学校が実施していた学校給食費の徴収管理事務を行政で実施する。さらに、保護者の利便性を向上させ、行政の事務の効率化を図るための学校徴収金管理システム等を、令和6年度運用開始に向けて構築する。

○新学校給食センターを建設します

老朽化した学校給食センター施設・設備を、最新の衛生管理基準へ対応させ、より安心安全な給食を提供するため、新学校給食センターを建設する。

（生涯学習課長）

○音楽のあるまちづくりを推進します

「音楽文化振興に関する協定書」を締結する公益社団法人セントラル愛知交響楽団と連携した事業を継続して展開するとともに、音楽を身近に感じられるよう、親子で体験できるワークショップを含めたコンサートなどを実施し、多様な音楽に触れる機会を創出する。

○文化芸術に触れ親しむ環境づくりを進めます

誰もが文化芸術についての価値を見出せるよう、美術展やファミリープログラムなどに加え、まちのいたるところ、いたる場面で文化芸術に慣れ親しめる「まちなかでアート」等各種事業を実施する。

○成岩公民館を改築します

建設後50年以上が経過している成岩公民館について、生涯学習活動や地域活動の拠点としてより安全かつ快適に利用できるよう、成岩小学校の敷地内のプール跡

地に公民館としてではなく、生涯学習施設として建設するもの。令和5年度はそれに向けての諸調査を実施する。

(スポーツ課長)

○大学と連携して地域スポーツ

令和4年度から開始した。総合型地域スポーツクラブ運営サポート等研究委託、指導者等派遣委託を実施するもの。

○半田福祉ふれあいプールを運営します

指定管理者による施設の維持管理や年間を通じ水に親しめる場を提供する。

(図書館長)

○誰もが読書を楽しめる環境づくりを進める。

ボランティアと協働し、より多くの人々が本に触れられる機会を増やす。また、貸出中ではない本も予約できるようにすることで、利用者の利便性向上を図る。

○電子書籍の利用を推進します

電子書籍の利用者を在学在勤に拡大するほか。朝読の時間などに学校タブレットで図書館の電子書籍が読めるよう、環境を整える。

(博物館長)

○未公開資料等を活用し市民の文化意識を高めます

物理的制約の中で、五感で体感する展示や口座を充実させるため、収蔵資料のデータ化や、OA機器の活用、文化財の担い手等による講演会等を実施する。

○旧中埜家住宅に棟札複製及び家具を整備します

令和5年度は、棟札の複製政策と洋風家具を購入する。

○地域の特色ある企画展を開催します。

企画展「童話に見る昔の道具」、館蔵品店、知多工芸展、博物館友の会合同企画展等を開催する。第9回はんだ山車まつりの開催に合わせ、博物館が収蔵する山車に関する展示を行う。

(新美南吉記念館長)

○新美南吉童話賞を実施します

南吉生誕110年を記念した新美南吉童話賞の応募数増を期したPR、情報発信及び入選作品集「赤いろうそく」の充実とともに、将来も持続可能な審査体制の確保に取り組む。

○企画展・特別展を開催します

4～7月に牛をつないだ樁の木展、7～10月に特別展「長野ヒデ子原画展」、11～1月に知多半島の自然と南吉写真展、1～3月にペーパーアート展を開催する。

○新美南吉生誕110年記念行事を行います

小学生24人が4か月間の練習を経て、生誕祭において「ごんぎつね」をリレー式に朗読する。音源は記念館ビデオシアターの番組に使用する。

	<p>(堀崎委員) 給食センター事業の徴収管理システムの導入は、学校現場の声として、とてもありがたいものだが、学年費も併せて集金するものか。</p> <p>(給食センター所長) 今回導入するシステムでは、給食費のほか、学年費、P T A 会費、教材費等も併せて徴収するシステムを導入したいと考えている。</p> <p>(堀崎委員) もう1点、未納者への督促についても考えてほしい。</p> <p>(給食センター所長) 給食費については、市が未納者への督促等も実施する考え。</p>
<p>5) 令和4年度退職管理職・教職員辞令伝達式及び令和5年度半田市教職員受入式等について</p>	<p>(主任指導主事) 本日配付資料。令和4年度退職管理職・教職員辞令伝達式を3月31日(金)8時30分から、管理職は教育長室にて行う。対象となる管理職は成岩小学校の水野校長先生と乙川中学校の高木校長先生の2名。なお、教育委員会からの出席者は、教育長を始め、部長、学校教育課長、主任指導主事の4名。 一般教職員の辞令伝達式については、大会議室にて行う。対象となる教職員は、半田小学校の水谷先生を始め、17名。教育委員会からの出席者は、先程と同じ、教育長を始め、4名。 買上採用等教職員の退職辞令伝達式については、12時45分から、教育長室で行う。対象となる教職員は、半田中学校の鈴木先生、1名。鈴木先生は、一旦、愛知県教育委員会採用の身分を退職し、地方公共団体等での採用となるため、伝達式にて退職辞令を交付するもの。教育委員会からの出席者は、先程と同じ、教育長を始め、4名。 「令和5年度管理職発令通知式」について。4月3日(月)10時30分から教育長室で行う。対象となる管理職は、岩滑小学校の富田校長先生を始め、校長先生3名と、教頭先生6名、総括事務長1名、主幹教諭1名。この式には、委員のみなさまにもご出席いただくため、当日、10時20分までに教育長室へお越し願いたい。 教職員受入式については、11時から大会議室で行う。4年ぶりにすべての異動者が参加しての受入式となる。この式については、委員のみなさまにもご出席をいただくが、令和4年度同様、学校教育課以外の課長、館長、所長の皆様には出席いただかないで行いたい。式の流れについては、「(2) 令和5年度 半田市教職員受入式」を参照。市民憲章の唱和に続いて、新転任者を一人ずつ呼名して紹介する。教育委員会の式辞は、式後に教育長より講話をいただきますので、ここでは割愛する。来賓祝辞では、市長よりお言葉をいただき、その後、受入教職員代表が誓いの言葉を述べる。来賓・事務局職員紹介では、市長、教育長、委員の皆様、部長、学校教育課長、指</p>

	<p>導主事とする。また、参加者を少なくするというので、各学校の教頭先生は不参加とした。以上のような形で、令和5年度の式典を執り行う。</p>
6) 令和5年度半田市立小中学校・幼稚園訪問実施計画(案)について	<p>(主任指導主事)</p> <p>学校訪問、幼稚園訪問の計画案を示す。これは学校順、日時順となり、基本的には、昨年度、訪問された学校や幼稚園は避けて、計画を立てた。また、ここ数年の資料を見て、しばらく訪問されていない学校から入れさせていただいた。併せて、連続した週に訪問していただくことを極力避けるなど、なるべく委員の皆様が窮屈な日程にならないように配慮させていただいた。なお、来年度も、学校教育課の職員1名も学校を訪問するようにし、教育現場の状況を把握し、職務に生かせるようにしたいと考えている。</p> <p>都合が悪くなった場合は、学校教育課へ連絡ください。</p>
7) 令和5年度研究委嘱校等について	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年度の研究委嘱校等の一覧にあるように、県からの委嘱であるキャリアスクールプロジェクトは乙川東小学校をお願いしている。その他の市からの委嘱として、防犯少年団、教育実践研究事業、防災キャンプ、歯科巡回指導、半田市みどりの少年団、半田市交通少年団に対し市のそれぞれ防災交通課、都市計画課、学校教育課などから委嘱がある。</p> <p>企業からのものとして、豊田ケミカル環境教育基金に基づく環境学習、アイシン環境学習プログラムを、それぞれ対象校をお願いしている。</p>
8) 令和5年度教職員の研修予定について	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年度半田市の研修予定については、大きく5つの研修会を計画している。</p> <p>1つ目は4月早々に教職員のパソコン基本操作研修会、これはオンラインで開催する。半田市に初めて赴任した教職員を対象とし、記載の研修を実施する。</p> <p>2つ目は、QUテスト研修会。先ほどの不登校対策事業の中にもあったQUテストを小4、中1・2の担任向けに実施する。また、活用方法について、QUスーパーバイザーの天野氏に講演いただく。</p> <p>3つ目が半田を知る会を8月に予定している。新任の教職員を対象とした初任者研修(地域と教育)の中で実施する。</p> <p>4つ目が、先ほど一般質問にもありました、生徒指導総合連携交流会として、記載のテーマで講師に榊原氏、浦狩氏をお招きして、市内の幼小中学校から5名以上の参加を募って行いたいと考えている。また保育園やこども園にも参加を呼びかける予定。</p> <p>最後は半田市教育講演会。8月24日(木)に、市内全教職員を対象に雁宿ホールで行う。講師は、工藤勇一氏、横浜創英中学・高校の校長先生をお招きする予定としている。</p>
9) 令和5年度半田市学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	<p>(学校教育課長)</p> <p>令和5年度の学校医、学校歯科医、学校薬剤師の体制については記載の表のとおり。</p> <p>なお、いずれの方も、半田市医師会、半田市歯科医師会、半田市薬剤師会など、それぞれの団体から推薦された方であり、教育委員会から委嘱させていただくもの。</p>

<p>10) 令和5年度地区公民館職員の委嘱について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>令和5年度の地区公民館職員は一覧にあるとおりで、職員の選任にあたっては、各公民館の運営委員会からご推挙いただいたもの。新規で委嘱させていただく方は網掛けとなっている。</p>
<p>11) 令和5年度学校施設開放管理指導員の委嘱について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>さくら小学校と横川小学校にある生涯学習施設の令和5年度管理指導員について、報告させていただく。さくら小学校と横川小学校内にある生涯学習施設は、休日や夜間に、学校施設を活用して地域住民の生涯学習の場として開放しているもので、地元の自治区長から推薦していただいた方に管理指導員を委嘱している。施設の利用は事前予約制で、利用予定のある時間帯だけ、施設に詰めていただくことになっている。</p> <p>さくら小学校管理指導員は、本来、瑞穂区、半田東区、県住区から一人ずつ選出することとしてきたが、県住区からの選出が難しいとのことから、関係三区の区長さんと調整し、今年度に引き続き半田東区から二人選出していただいている。</p>
<p>12) 令和5年度地区公民館の臨時開館日、臨時休館日について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>公民館条例施行規則第5条により、地区公民館の休館日は、年末年始および月曜日で、月曜日が祝日のときは、その翌日とすると定めている。そのような中で、地域の特性に合わせ、月曜日以外を定例的な休館日としたり、地域の行事等に合わせて臨時の開館日や休館日を設定したりと、柔軟な運用を行っている。</p> <p>令和5年度の①定例的な休館日の変更、②臨時休館日、③臨時開館日を市ホームページや公民館内への掲示などで、利用者への周知を行う。</p>
<p>13) 施設使用料の支払時におけるキャッシュレス決済の導入について</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>4月10日から、公共施設の一部でキャッシュレス決済「PayPay」の利用を開始する。新たに利用を開始する施設は、雁宿ホール、半田運動公園、市民交流センター、子育て支援センターはんだっこ の4施設。</p> <p>雁宿ホールでは、貸し部屋の使用料、冷暖房料、運動公園では、陸上競技場・トレーニング室の使用料をPayPay対象としている。</p> <p>なお、市民課、税務課、収納課では令和4年度からPayPay決済が始まっている。(一部証明書の交付に利用)</p> <p>市報4月号及びHPで周知を図っていく。</p> <p>(スポーツ課主幹)</p> <p>ただいまの説明の中で半田運動公園とありましたが半田運動公園の中の陸上競技場窓口にて実施しますのでよろしく願います。</p>
<p>14) 令和4年度音楽のあるまち</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>この事業については、セントラル愛知交響楽団と締結した協定に基づき、音楽のある</p>

<p>づくり事業報告について</p>	<p>まちづくりを推進しているもので、令和 4 年度のすべての事業が終了したので報告する。</p> <p>事業としては、委託料に基づき実施している協働事業と提案事業に分かれており、特徴的な部分を抜粋して説明する。</p> <p>吹奏楽の響き inHANDA は、763 名の方に来場いただいた。そのうち、市内小中学生の希望者を無料招待し、119 名の方に来ていただいた。また、中学校吹奏楽部に雁宿ホールにきてもらい、セントラル団員から夏のコンクール向けの演奏指導を行うワークショップは、3 年ぶりに実施し、4 中学校が参加した。</p> <p>ガラコンサートは 3 年ぶりの開催となり、午前は乳幼児向け、午後は大人向けとし、子どもから大人まで楽しめるよう工夫を凝らしましたが、午後の来場者は 279 名と見込みより少なかったことから、周知方法等に課題を残しました。</p> <p>中学校へのワークショップについては、市内中学校吹奏楽部員の技術向上を目的として、各中学校に年 1 回プロの演奏者から指導を受ける機会を設けているもの。しかし、部の先生方より「もう少し回数を増やしてほしい」「実施方法を検討してほしい」という要望があったため、令和 5 年度から体制を見直し学校が希望する方法で実施する予定。</p> <p>ちいさなコンサートでは、乳幼児連れの方を対象にしたコンサートを開催した。午前午後の 2 部制で、申込は多かったのですが、当日お子様の体調不良等での欠席が多かった。2 の畳でコンサートでは、赤ちゃん連れの親子を対象に開催した。毎回定員を超える申込があり、今回も多くの家族連れに好評だった。</p> <p>コンサートや講座について、乳幼児を持つ親子が参加できる環境を整えてきたことで、親の音楽文化への関心は高まりつつある。また、耳の肥えた音楽愛好家の方々にも満足いただけるようなコンサートの必要性を改めて感じている。誰もが音楽に親しめる環境づくりを進める上で、令和 5 年度に向けて今までの良さを残しつつ見直すべきところを改善してより音楽のあるまちづくりを推進していく。なお、令和 5 年度の事業計画についても掲載している。</p>
<p>15) 令和 5 年度半田市弓道教室の開催について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>半田市弓道教室は毎年開催しているもので、中学生以上の弓道初心者の方を対象に、半田市弓道協会様のご協力をいただき、半田市営弓道場において、5 月から 6 月にかけて、計 12 回の開催を予定している。</p> <p>受講料は保険代など、2,400 円で、定員は 20 名、4 月 3 日からスポーツ課にて先着順で受付を行い、市民への周知は市報 4 月号及び HP にて実施する。</p>
<p>16) はんだシティマラソン 2023 の協賛企業・団体の募集について</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>はんだシティマラソンは「はんだスポーツの日」である毎年、11 月の第一日曜日に開催しており、令和 5 年度は 11 月 5 日（日）に開催する予定。</p> <p>今回の協賛企業・団体の募集は、円滑な大会運営のために、現金や物品を募集するもの。</p> <p>協賛の特典として、パンフレットや応援グッズに協賛者の名称の掲載や、チラシやクーポンの封入、大会会場への横断幕やブースの設置のほか、高額協賛者には大会名の</p>

	<p>「冠」付与やゼッケンに名称の掲載などの特典が与えられる。</p> <p>募集は半田市報や HP に掲載するほか、これまでに協賛いただいた企業や団体様に直接、ご案内をする。</p> <p>なお、大会の開催方法等は、現在、実行委員会で協議しているので、決定次第、改めてご報告させていただきます。</p>
17) 令和 5 年度新美南吉記念館半田市民特別観覧券の発券及びはんだ市報への掲載について	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>南吉記念館には日本全国からお客様が来られるが、半田市民の来館が全体の 1 割程度に留まっているのが課題となっている。市外、県外からの来館者が多ければ相対的に市民の割合は下がってしまうが、少しでも市民の来館者数を増やして南吉を改めて知っていただき、半田の誇りとして発信していただきたいと思っている。</p> <p>市民特別観覧券は、半田市使用料条例第 6 条の規定を準用し、1 枚で 2 名まで全額減免の特別観覧券 2 枚を、はんだ市報 4 月号に掲載する。有効利用について、委員の皆さんからもご紹介をお願いしたい。</p>
18) 各種事業について ①ビギクラ♪はんだ 2023 の開催について	<p>(生涯学習課長)</p> <p>先ほど、音楽のあるまちづくり事業報告において、令和 5 年度はいろいろ改革して事業を行うことをお伝えしましたが、このビギクラはんだも方法と内容を変更して開催する。これまでビギクラはんだは、セントラル山本さんがクラシックについて、楽しくわかりやすく解説し、生演奏をする講座を無料で 3 回実施してきた。山本さんのファンである固定客が定着し、毎回 1 0 0 名前後の来場者があり、また、ビギクラはんだの他にビギクラアドバンス、ワンコインコンサートという 3 0 0 円～ 5 0 0 円の入場料でワンランク上のクラシック講座を開催していたが、来場者の顔ぶれがいつも同じであること、無料でも有料でも来場者数が同じであることから、R5 は年 2 回、セントラルの大きなコンサートの前に開催し、コンサートの内容に絡めた内容で、コンサートに興味を持ってもらい再び来場につながるよう位置づけていく。5 月のビギクラは 6 月に開催するピアノカンタービレにちなんだ内容、6 月は、7 月に開催する夏の第九にちなんだ内容を企画し、雁宿ホール大ホールを多くの方々にぎわせたいと考えている。</p>
18) 各種事業について ②令和 5 年度前期分「講座・イベント情報誌」について	<p>(生涯学習課長)</p> <p>この情報誌は、まなびとゼミを始め各種の講座や、各課が開催するイベントなど令和 5 年度前期分の情報を取りまとめたもの。市民の皆様が、講座やイベントを幅広く探し、参加のきっかけにいただけるよう、公共施設で配布するほか、ホームページに掲載するなどして P R していく。</p>
18) 各種事業について ③「あかちゃんとしょかん」ボランティア養成講座について	<p>(図書館長)</p> <p>「あかちゃんとしょかん」は、保健センターで実施される 3 か月児健康診査時に、絵本を通して赤ちゃんともふれ合う楽しさや大切さを伝える活動。あかちゃんとしょかんボランティア「あつぷつぷ」さんと図書館が協働して実施する。</p> <p>子育て中の親子を応援していただき、この活動に参加していただける方を対象に、あか</p>

	<p>ちゃんとしょかんの概要と活動内容を説明し、実際のマニュアルに沿って研修を行う。後日、日程を調整し会場見学も行う。</p> <p>この講座は今年度も開催したが、活動に参加していただける方の確保が難しく、再度開催するもの。</p> <p>4月26日(水)午後1時30分から、図書館2階第1会議室で、講師は「あっぱっぷ」のみなさん。定員20名先着順で、4月7日から申し込みを受け付ける。</p>
18) 各種事業について ④第38回知多工芸展について	<p>(博物館長)</p> <p>4月22日(土)から6月4日(日)の間、「第38回 知多工芸展」を開催する。本展では、陶芸、人形、染織、など、知多半島の作家23人の作品を展示する。</p> <p>また、期間中の5月7日(日)には、ポスター作品制作者の小林佐智子氏による知多工芸展講座「風通織(ふうつつおり)の魅力」を開催する予定。</p>
18) 各種事業について ⑤旧中埜家住宅で組紐を体験しようについて	<p>(博物館長)</p> <p>5月12日(金)・13日(土)に、明治時代の住宅である旧中埜家住宅を会場として、日本伝統の工芸品である「組紐」を体験する講座を行う。この講座は、旧中埜家住宅の「多様な学びの場としての活用」の一環として行うもので、桐華きもの学院の花井佐知子(はないさちこ)先生を講師に迎え、組紐の手順を丁寧に教えていただきながら、20cm程のストラップをつくる内容となっている。日本の歴史・文化を学び、受け継いでいくことの大切さを伝える講座としたいと考えている。</p>
18) 各種事業について ⑥企画展「ぼくは井戸である～「牛をつないだ樁の木」考から」の開催について	<p>4月15日から開催する企画展「ぼくは井戸である～「牛をつないだ樁の木」考～」について報告する。</p> <p>南吉は、亡くなる前年の昭和17年に数多くの童話を書いており、大半が大人の男性を主人公にその生きざまを描く物語だった。なかでも「牛をつないだ樁の木」は、死の半年後に出版された第二童話集の表題ともなった晩年の代表作。</p> <p>「牛をつないだ樁の木」は単に昭和17年の作品群を代表するだけではなく、南吉文学全体に見られる特徴を多く備え、実に南吉らしい童話と言える。</p> <p>さらに物語のなかで主人公が人々のために井戸を掘ろうとすることには、作者自身の創作活動にも重なるところがある。</p> <p>タイトルの「ぼくは井戸である」というのは、昭和17年の日記から取っている。</p> <p>生誕110年のキャッチコピー「さあ この泉を汲んでくれ」にも通じる、南吉が井戸や泉にもこめた思いに迫る企画展となる。</p> <p>なお、資料の通り、会期中には私が展示解説をするミュージアムトークも行う。ぜひお出かけいただきたい。</p>
18) 各種事業について ⑦まなびとゼミ、ゲストティーチャーに	<p>R5年度も、芸術や食文化、健康など15分野の様々なジャンルの中から、全147講座のゲストティーチャー登録をいただき、登録者リストを作成したもの。</p> <p>ゲストティーチャーは、小・中学校、幼稚園・保育園、公民館などにおいて活動してい</p>

<p>ついて</p>	<p>る。R3 は 18 件、R4 は 17 件の市民からの依頼があり、ゲストティーチャーが講座を開催した。正直この件数は多いとは思っていない。これまで、ゲストティーチャーの登録情報は、冊子への掲載、HP への掲載という限られた字数制限の中で活字のみで紹介してきたが、R5 はゲストティーチャーの活動の様子や内容を広報する 3 分ほどの PR 動画を掲載することで、興味をもってもらい、ゲストティーチャーを活用してみたいと思う方を増やしていきたいと考えている。意欲的に取り組みたいと考えているゲストティーチャーを中心に 10 名程度を選出し、各自で動画作成してもらう。令和 5 年度は、ゲストティーチャーの活用促進という課題を解決していく上でチャレンジしていく。</p> <p>続いて「まなびとゼミ」について。こちらは、ゲストティーチャーの方々が開催する講座を募集していく。前期・後期・夏休みと年 3 回開催している。毎回同じ講師が開催しているが、今回は二人の新しいゲストティーチャーが加わり、新たな講座を開設した。Instagram と裏面の相続の方法。どちらも今の時代に必要なもので時代を反映した講座。これからも、市民が学んだことや特技を生かせるゲストティーチャー制度を充実させ、教えた人と学びたい人をつなげることで生涯学習の推進を図っていく。</p>
<p>事務連絡 (学校教育課)</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>①半田市教員組合からの要望書が届いた。要望事項は 4 点。</p> <p>1 点目は、全国学力学習状況調査について、本調査で計ることができるのは学力の一部であることを踏まえ、子どもたちは学校地域の序列化や過度の競争、学校現場の負担増につながらないように配慮いただきたいということ。</p> <p>2 点目は、全国学力学習状況調査における結果の公表は行わないでくださいという要望。やむを得ず公表する場合は、点数の比較ではなくて学習状況の傾向を示すものとしてほしいということ。</p> <p>3 点目は、全国学力学習状況調査結果を分析し、ゆきとどいた教育の実現に向けた教育条件整備を含めた教育施策の改善に反映させてくださいということ。</p> <p>4 点目は、今後の学力学習状況調査についての話合いの場を設けていただきたいこと。以上 4 点の要望書をいただいたので紹介させていただいた。</p> <p>②教育の人事異動として、過日の知教協での承認を経た内容につき、ご覧いただきたい。</p> <p>(教育長)</p> <p>ただいまの件について補足だが、人事異動はこの資料をもとに、30 日(木)に新聞発表となる。</p>
<p>事務連絡 (博物館)</p>	<p>(博物館長)</p> <p>常設展示している山車について。4 月 2 日から乙川浅井山の宮本車を展示する。6 月末までの約 3 か月の展示となる。</p>

<p>事務連絡 (南吉記念館)</p>	<p>(新美南吉記念館長)</p> <p>記念館だより 220 号を発行した。先月の童話賞の表彰式の様子、受賞者のインタビューのほか、4 月から練習が始まる「ごんぎつね」朗読リレー参加児童たちの初顔合わせの様子などを紹介している。</p>
<p>教育委員からの 意見提言等</p>	<p>(桂委員)</p> <p>部活動の地域移行の件だが、新しく何かやりたいという人や団体があったときに、各地区のスポーツクラブや協会に加入する必要があるか。</p> <p>例えばヨガのメンバーを集めて団体を立ち上げ、土日の子どもたちを受け入れたいとした場合もスポーツクラブに入会することが条件となってくるか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>指導する側は、各スポーツクラブに登録されて参加される方も多いかと思う。ただ、そうではなくて、例えば一民間のスポーツ団体として活動されることも全然問題ない。今後そういった団体も数多く出てくると思うので、そういった情報を収集した上で、先ほどの講座ガイドのようなものを作っていきたいと考えている。</p> <p>(桂委員)</p> <p>問い合わせ先としてスポーツ課を紹介する。</p> <p>一方で、この部活動の話については、土日の受皿になる団体と、習い事の違がよく分からなくなってきてしまったが、何か明確な違いがあるのか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>土日は学校の部活動がなくなると理解いただいたほうがいいと思う。土日も部活の延長と理解される方も多いと思うが、基本的には学校から離れるという形。あくまでも個人として、習い事に行くという整理。自分の趣味であったり、あるいは精度の高い、技術の高いところで自分を高めたり新たな経験をするといった、そんなイメージをしていただけたらと思う。繰り返しになるが、休日は部活ではないということを、大前提として御理解いただきたい。</p> <p>(桂委員)</p> <p>つまり、例えば地域にあるダンスチームのように、子どもたちが習い事として活動しているようなところがあるが、それらのチームや団体も、みんなに配られる地域の活動団体や種目の一覧の中に入ってくるということでもいいか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>我々もたくさんの情報を収集しようと考えているが、例えばスポーツクラブに登録がある団体はすぐに情報が分かるものの、それぞれの地域で独自で活動されている個人や団体の情報はすぐには入ってこない。それらをいかに収集した上で、例えば中学生に、一覧のようなものを提供するかが今後の課題と認識している。来年度以降、考えていきたい。</p>

	<p>(教育長)</p> <p>個人的な考えではあるが、民間で事業として有料でやっている個人や団体はたくさんあって、それは集約しきれないと思う。よって、半田市としては、総合型地域スポーツクラブを推進しようという姿勢で、そのスポーツクラブに登録している団体や文化協会、スポーツ協会に関しては紹介できるけど、それ以外については、これまでどおり各々で宣伝してもらおう形にならざるを得ないのかなと思っている。ただ、この点についてはこれから検討していくこと。</p> <p>(桂委員)</p> <p>そのあたりは今後、検討されるということでもいいか。</p> <p>(教育長)</p> <p>そのあたりについても、みなさんからご意見をいただきながら進めていきたい。</p> <p>(新美委員)</p> <p>保護者としては、部活動が移行するという認識で受け取っているから、土日はあらゆる団体での活動を自由に選択してください、というメッセージでは混乱する恐れが考えられる。例えばスポーツだと、ある程度の枠の中から、まず第1に選択してもらおう。半田市としては、基本はこの枠の中で選択してくださいという方向に進めたほうがいいと思う。すべてを網羅しようとして、月1万円の会費がかかるような民間の団体がその中に列挙されていたとして、生徒が選択したあとで、こんなはずではなかったのとなる恐れもある。言い方は悪いかもしれないが、営利でやっているところと、地域スポーツクラブとしてふさわしいところの選別というか、線引きというか、そういったものは必要なのかなと感じる。</p> <p>(教育長)</p> <p>今の話を聞いてみて思うところは、移行先に部活と同等のものがあるというイメージは何とか崩したい。部活動はなくなり、地域での活動へと移行する意識を醸成したい。急には難しいのかもしれないが、いろいろなところで説明させていただこうと思っている。勝手に選んでくださいというようにするつもりはなく、そのためにどういったものがあるかを今整えようとしているので、そのあたりは御理解いただき、今後も保護者にも丁寧に周知を図っていく。</p>
<p>次回開催等</p>	<p>(事務局)</p> <p>4月定例教育委員会 日時：4月26日(水)14時00分～ 場所：半田市役所4階 会議室402</p> <p>5月定例教育委員会 日時：5月25日(木)10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室</p>

	(教育長) 3月定例教育委員会を終了する。
--	--------------------------

〈 閉会 12時00分 〉